



## 第 35 回 ロータリ月例報告書

2023 年 7 月

6 月中旬にカナダ西部の山火事で東海岸も深刻な大気汚染に見舞われましたが、ちょうど国外に出ていました。第 35 回目の月例報告書では 2023 年 6 月から 7 月までの生活状況をご紹介します。

先月は国内外の移動をたくさんしました。初めにメルボルンで QUAD Fellowship の集まりがありました。東海岸からの大移動は気持ち的には準備していたつもりでしたが、まず NY からテキサスの Dallas へ移動し、そこからメルボルンまでの 17 時間の直行便はとても疲れました。飛行中に何度寝て起きたか分かりません。集まりでは様々な分野のアメリカ大学院学生と知り合うことができとても有意義な会になりました。同じ学年の博士課程学生と仲良くなり、偶然実家がシドニーという事だったので、メルボルンでの集まりが終わった後シドニーへ移動し、アメリカに帰るまでの数日間街を親切に案内してくれました。時差ぼけと連日のソーシャル活動で体調はあまり良くなかったですが、滅多に無い機会だったのでバファリンを飲みながら一生懸命観光しました。メルボルンもシドニーも本当にとっても良い街でした。特に治安の良さです。夜に downtown を歩いていても特に危険感はなく、海外でこんなに気を緩められる環境があったのだと感動しました。オペラハウスの隣にある大きな庭園で寝転がって友達と休んでいる時は、これほどリラックスして大胆なことをアメリカでは一度もした事がないなと思いました。その他にも、街行く人たちの多様性もあり、チップを払う習慣も無く、バスや電車などの公共交通機関もとても綺麗で使いやすい等も好印象でした。

シドニーからニュージーランドを経由し 20 時間超かけて NY まで帰って来ました。その翌週はボストンで学部 25 周年記念をお祝いする夕食会に参加しました。この会は元々開催されている国内学会のおまけで開かれたので、学会のみに参加している友達も全国から多く集まっていました。夕食会では沢山の卒業生たちと会うことができ楽しかったです。現在の学部の博士課程プログラムは今の指導教授が設立したので、スピーチでは当初の苦労やこれまでの歴史が紹介され改めて威厳を感じました。

最後にアメリカの郵便配達についてです。アメリカでは大抵 3 つの配達グループがあり、それらのサービスの質の良さはこれまでの肌感覚で、日本郵政 >> FedEx = UPS >> USPS になっています。USPS は国が運営している郵便ですが、サービスの質はアメリカ人も認める最悪です。先日キャンパスにある支店で窓口担当の人が余りにも対応が悪かったので酷い口論になりました。そのためしばらく近づかないようにしています。FedEx はこれまで信用していたのですが、先日荷物を受け取る際にいわゆる置き配達をどうしても指定できず、配達を 2 回見逃すと送り主に戻されるということで、平日に家で待機するしかない事がありました。結局待っていても配達されなかったため、最終的に道で走っている FedEx の配達トラックの運転手に直接話しかけ、何とか荷物の再配達をお願いしてようやく受け取ることができました。こういう不便な出来事に晒された後だったので、余計にオーストラリアの良さが際立って有難く感じられたのかも知れません。

